

製品名: MBL-C ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13686**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	27kDa

抗原情報

遺伝子名	MBL2
別名	MBL2 COLEC1 MBL
遺伝子 ID	4153.0
SwissProt ID	P11226
免疫原	アミノ酸配列範囲: 21~70 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

背景

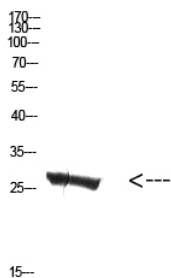
この遺伝子は、血清中に存在する可溶性マンノース結合レクチンまたはマンノース結合タンパク質をコードします。このタンパク質はコレクチンファミリーに属し、自然免疫系の重要な要素です。このタンパク質は多くの微生物上のマンノースと N-アセチルグルコ

サミンを認識し、古典的補体経路を活性化することができます。この遺伝子の欠損は、自己免疫疾患や感染症への感受性と関連付けられています。[RefSeq 提供、2008年7月]、疾患：MBL2 遺伝子の変異は、B型肝炎ウイルス感染症（HBV 感染症）への感受性と関連しています[MIM:610424]。肝硬変症例の約3分の1、肝細胞癌症例の約半数は、慢性 HBV 感染症に起因すると考えられます。HBV 感染は、無症候性または潜在性の感染、急性の自然治癒型肝炎、あるいは肝移植を必要とする劇症肝炎を引き起こす可能性があります。、疾患：MBL2 の低レベルとオプソニン作用の欠陥との間には関連があり、その結果、頻繁かつ慢性的な感染が生じやすくなります。、機能：カルシウム依存的にマンノースおよび N-アセチルグルコサミンに結合します。抗体とは独立して、古典的補体経路を活性化することにより、病原体に対する宿主防御能を発揮します。、オンライン情報：マンノース結合タンパク質、類似性：C 型レクチンドメインを1つ含みます。、類似性：コラーゲン様ドメインを1つ含みます。、サブユニット：6セットのホモ三量体からなるオリゴマー複合体。MASP1 および MASP2 と相互作用し、その相互作用はカルシウム依存的です。、

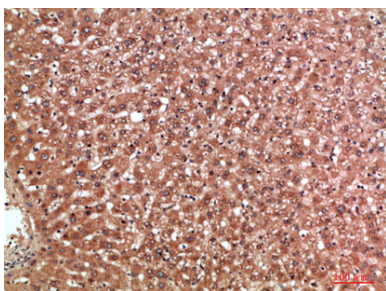
研究分野

補体と凝固カスケード;

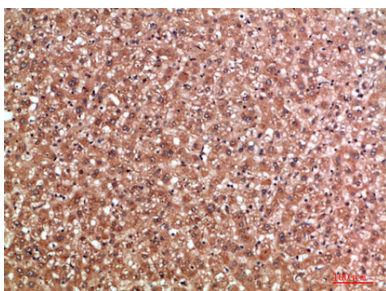
画像データ



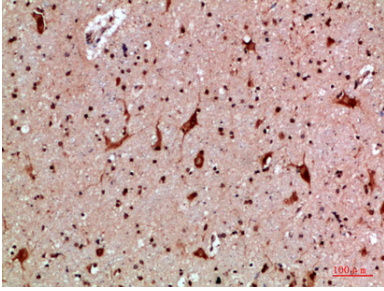
500 倍希釈の抗体を用いたマウス腎臓細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 倍希釈した。



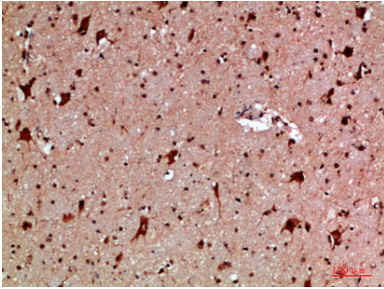
パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された